

**定期預金** 一年 年六分  
六ヶ月 年五分五厘  
三月 年五分  
日歩 年五分  
日歩 年五分

**當座預金** 日歩 年四分

**小當座預金** 日歩 年四分

(一口五圓以上如何程の大額にても)

常庫勘定へ入金の場合所拂手形取立小切手は當日より利息を附す

常庫貸付金は一先引出されるが、常日中に入金となれば別に利息を申受けす

送金取組は其出金宜しからざる場合を除く外大抵無手数料にて取扱ふ



東京市本橋區新右衛門町十六番地  
三井銀行  
電話 三三三三  
本局 三三三三  
支店 三三三三  
東京市本橋區新右衛門町十六番地  
電話 三三三三  
本局 三三三三  
支店 三三三三

**送金取組先** (在○印の箇所は三井銀行支店出張所なり)

東京	大阪	神戶	横濱	名古屋	京都	福岡	仙台	青森	岩手	秋田	山形	宮城	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	
山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨
山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨	山梨

**開業廣告**

直輸出入商  
二月三日開業

輸入品 小賣

あかさ家  
斯真田商館

**福澤全集緒言**

福澤先生が親しく筆を採りて其著譯書の由来及び著譯を爲したる當時の時勢事情を説明したるものにして、趣味津々を催ひて知らず讀者の便利を圖りて特に一冊子と爲す正價出、郵費二銭發行所時事新報社支店所各地書林

**福澤全集緒言**

福澤全集緒言

**新關稅則の實施に就て**

我國民が多年希望したる條約改正の事業は先年來着々歩を進め佛蘭西地兩國との新條約も近々批准交換を了る由なれば遠からずして完成を見るに至る可し元來改正條約の實施期限は明年七月以後なれども稅權の實施に就ては議定書に特別を設け全權監督の改正條約成れば右の期限前に於ても現行の關稅則は無効に歸し昨年發布の關稅定率法并に新條約に於て約定したる協定稅則を以て之に代ふるを得る次第にして當局者の見込にては本年九月頃に至れば實施の運に至る可しと云ふ西洋の實例を見るに海關稅の收入は歲入の二割以上を占むるの常にして最近の調査に據れば合衆國關稅の收入は一億六千萬弗にして經常歲入三億二千六百萬弗に對して五割に相當し伊太利の如き貧國さへも尙ほ一割五分以上の割合なるに我國に於ては關稅以來貿易上に非常の發達を見たりと云ふに拘はらず輸入稅の收入は甚だ微々として僅に經常歲入の三分五厘に過ぎず斯の如きは現行の關稅則に據るの欠點あるが爲めに於て新條約に於て稅權を恢復し應二年の改稅約に於て協定稅率の制限を撤去したる其上に輸入稅の賦課法を改めて輸入品の產出仕入地に於ける原價に輸入港に到着するまでの諸費用を加へたるものに課稅するものと又從價稅の改算期限を一定したる等種種の改正を加へたるは稅則上非常の進歩と云はざる可らず從て新關稅則實施の際には關稅の收入は一千萬圓以上に達する由にして財政困難の今日には此上もなき好都合なれども我輩の所見を以てすれば關稅定率法並に協定稅則には尙ほ種々の欠點も少からざれば其欠點を改正するに非ずんば決して稅則の完成を見る能はずと信するものなり抑も關稅則を制定するに當て眼目とする可きは成る可く貿易の自由を妨げずして多額の收入を收むる一事に外ならず或は之に依て内國の産業を保護す可しとの説もありて既に先頃も一部の實業家間に此說を聞きたるも斯る目的を達せんには尙、外國品の輸入を排斥せざる可らざるを以て輸入の數量は大幅に減少して關稅の收入を失ふのみならず結局貿易の利益を失ふに至る可し新關稅則が保護の主眼を取らざらば至當の處置にして今後とも方針を以て内國消費力の許す限りは輸入品に相當の稅を課して收入の増加を謀るるを關稅法制定の眼目なれば或は酒煙草の稅率の如き四割以下に限られたれども實際今の消費力より云ふも又内國稅と平衡を得せしむるの點より云ふも尙ほ此上に増率の餘地あるは明白にして之が爲めに消費を減じ收入を失ふなどの掛念ある可らず大に増率して差支なき所なれども之と共に最も必要なるは原料日常消費品を無稅とするの一事にして斯の如くすれば税目は自から簡單となりて貿易の發達に著しき便利あるは疑なき所なり殊に原料の輸入を自由にするは今後工業を獎勵するに最も肝要の處置にして新關稅則に於ても既に生絲羊毛等の無稅を認めたるも尙ほ原料にして關稅を徵するもの少からず輸入税を先國我國

**農業雜話 (八)**

**茄子青枯病 (下)**

●農防方法 本病の接續試驗を行はざる前に方りて農防試驗場も虫害の爲めとは信せず恐らくは細菌又は菌類の寄生なるべしと疑を懐き居たるものと以前に記したるが如し之に加へて或る地方に於ける農家の進行する一二の預防法を見て益々其所信を強めたる折柄接續試驗に於て愈々病源を究め得たる爲め遂に病原菌の消毒を以て農防上第一の必要なりと認め其試驗に着手したり左に試驗の概略を簡叙せん

●試驗の精密を期せんが爲め苗床に幅四尺、長さ十二尺の温床框を用ひ肥料として一年に付堆肥二斗、人糞二斗、厩肥一斗を施用し民間に傳説する如く決して病害に侵さるるものと云ふ鮮黄色の種子を播種し且し消毒せらるる暗紫色の種子とを取り沸騰、木灰汁法加法を施し及び木灰、硫黃、生石灰等を散布し種々の方法に據りて試験したるに其結果として左の事實を得たり然れども第一次の試験のみにて決して斷案を下する能はざるなり

一、一株に發病するものあるときは病葉は四近に傳染蔓延するもの如し

一、苗床に石灰、木灰或は硫黃の一定量を撒き、とせば被害を免るもの如し

一、圃地に一定量の木灰を施用し後に苗を移植し、とせば被害を免るもの如し然れども毎日消毒の効力減少するときは遂に復た病害を免る能はざるもの如し

一、種子の色彩に由りては被害の有無を判定するものと能はざるもの如し

●廣域變更 常備隊隊司令官

●東洋汽船會社の新運航